

公表

事業所における自己評価総括表【児童発達支援】

○事業所名	ウィズユー南中野		
○保護者評価実施期間	2025年 10月 13日 ~ 2025年 10月 31日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	3 (回答者数)	1
○従業員評価実施期間	2025年 10月 13日 ~ 2025年 10月 31日		
○従業員評価有効回答数	(対象者数)	10 (回答者数)	10
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 11月 8日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	【専門性の向上を目指した取り組み】 ・日々のケースカンファレンスによる支援の質の向上。 ・活動内容に偏りがないよう職員間で話し合い、季節のイベントも取り入れるようにしている。	・朝礼でケースカンファレンスを行い、日々の支援を検証し、効果的な支援を考察・実施している。 ・活動は実際に行ってみた後に、子どもたちの反応や興味の持ち方を職員間で共有し、その後に生かせるようにしてる。 ・他店舗とも情報共有し、良い点を取り入れている。	・研修等に自発的に参加、報告し、自己研鑽に励む施設風土を築き上げる。 ・他事業所のSNS等もチェックし、取り入れられることを検討する。
2	自宅や学校への送迎サービス。	・可能な限り保護者の要望に応えられるよう、時間の設定等工夫している。 ・安全に十分注意し、受け渡しの際にはその日のお子様の様子を伝えるようにしている。	保護者の体調不良時により自主送迎が難しくなった場合にもできるだけ協力できるよう柔軟な対応を心がける。
3	SNSの発信。	・日々の活動について、定期的にInstagram等のSNSで写真や動画を投稿している。	引き続き、その日の様子だけでなく“支援の効果”も伝えるような発信を意識していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	限られたスペースでの活動になり、制限されてしまうことがある。	建物の構造上の問題。	・床の色分けなど空間の区切り方を工夫したり、クールダウンできる個室はいつでも確保できるよう調整し、児童にとってわかりやすく安心・安全に過ごせる環境設定を行っていく。 ・窓には、危険がないよう飛散防止フィルム等を貼る。
2	地域との交流が少ない。	・姉妹施設との交流はあるが、外部施設や地域と交流する機会が少ない。	・地域のイベントや外部施設の研修等に積極的に参加する。
3	ペアレントトレーニングや保護者会など、保護者へ向けたプログラムが行えていない。	マンパワー不足。	事業所発信の勉強会などを企画していけるよう、職員体制の安定化を図る。